

# モビリティ革命における イードの取り組みについて

**iid 5G Mobility<sup>®</sup>**

// 自動車産業は今、「100年に一度」と言われる「大変革の時代」 //

イードは、レスポンスを始めとする複数の自動車メディアを運営し、リサーチ事業はとくに自動車リサーチのエキスパートとして28年間業界に貢献してきました。カーライフや回線スピードのログデータをビジネスにすることも18年以上前から行っています。

メディア



リサーチ



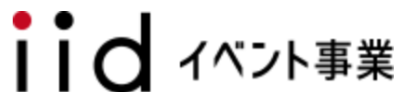
データベース



AIエンジン

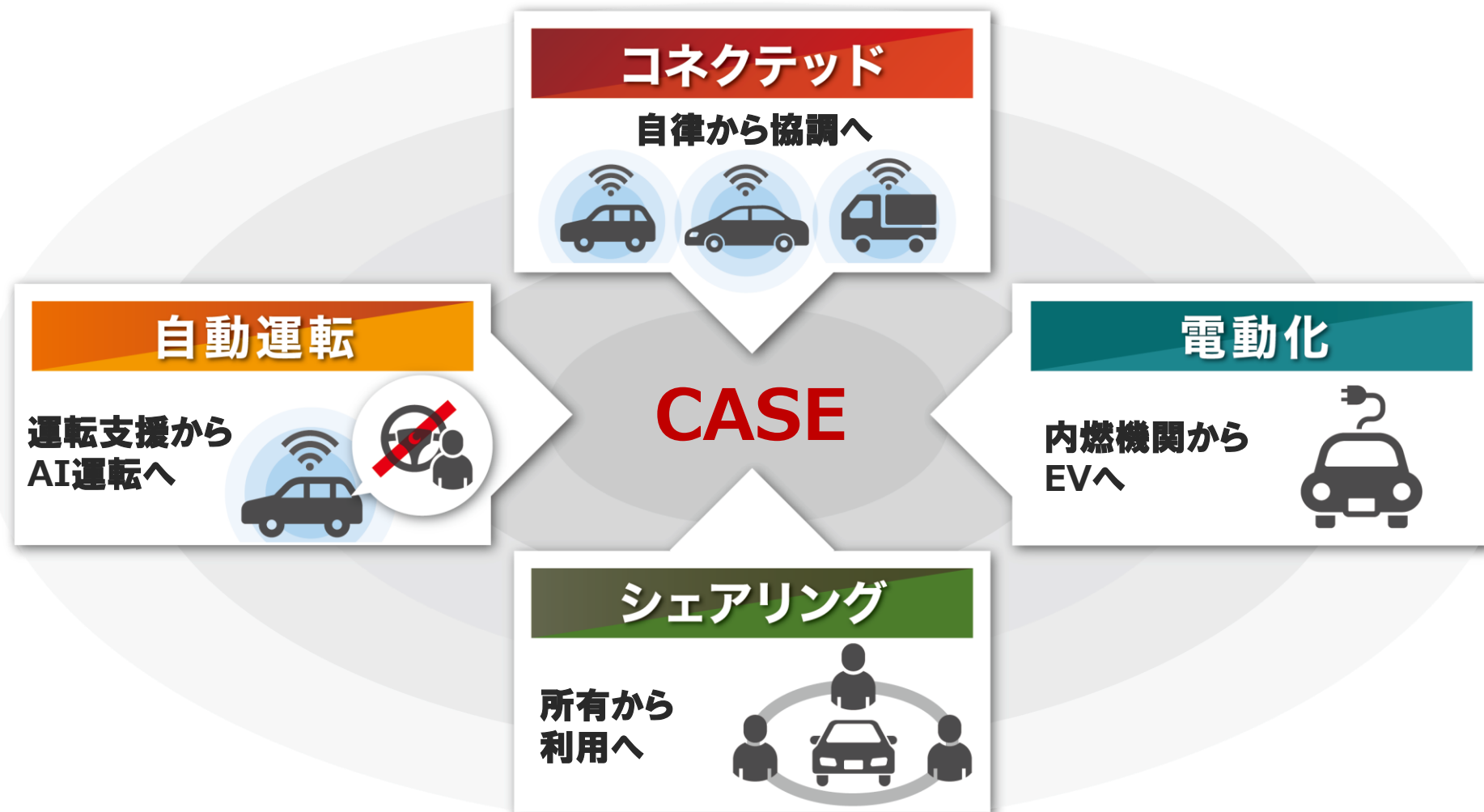


イベント



**自動車調査28年の実績**  
**自動車ニュースメディアNo.1**

**C**onected・**A**utonomous・**S**hared and Servicesと**E**lectricとの頭文字をとったCASEは、自動車におけるハード側面の変化とITC側面の波が、同時に来ることで製造販売の自動車ビジネスが大きく変化することを示しています。

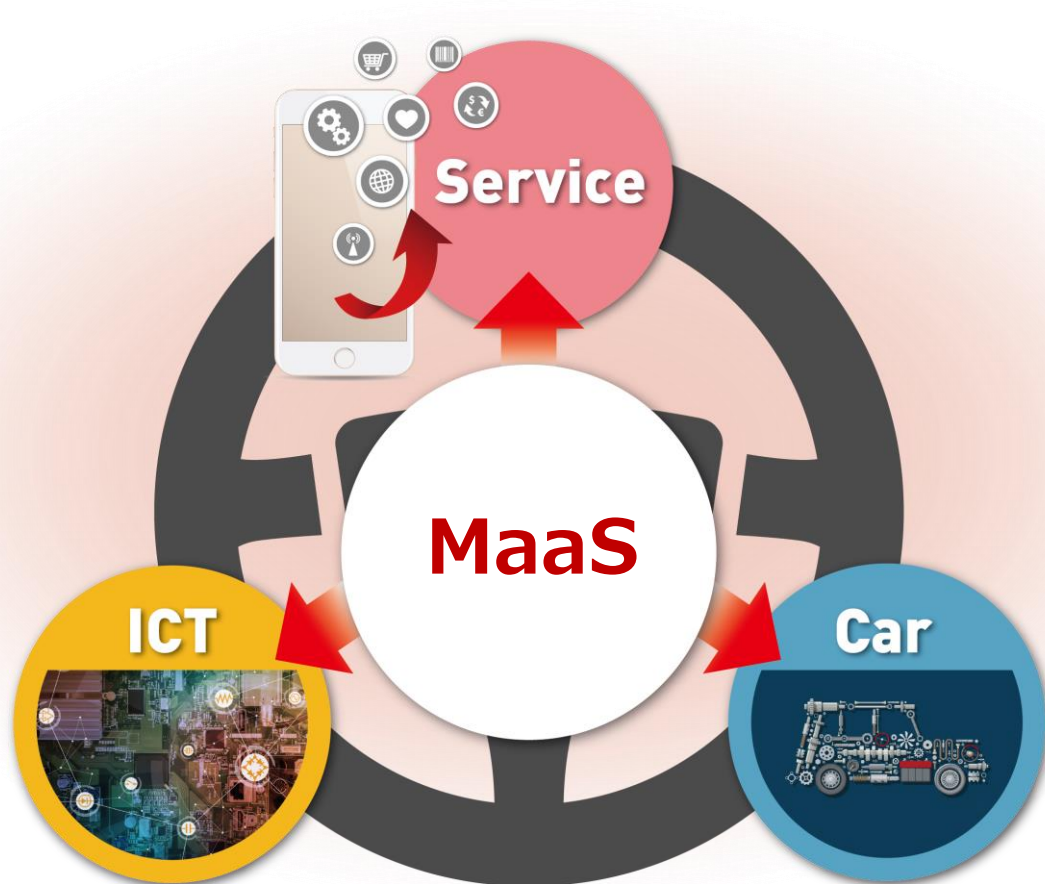


CASEは自動車を変えます。進化する自動車は、「サービスとしての移動」 MaaS (Mobility as a Service) に推移し、拡大すると言われています。

イードではMaaSを広義に捉えています。

現状の自動車ビジネスは、新車販売からメンテナンス、給油、保険、中古車流通、リサイクルなど多岐にわたります。それらすべてがスマートフォンやIoTそしてビッグデータやAIによって“スマートサービス”に進化を始めています。

すべてのモビリティビジネスがスマートサービスになる。これがMaaSだと考えています。



FY18よりメディア・リサーチ・データベースなどの自動車関連事業アセットを利用した支援プログラムを多数実行しています。海外展示会のレポートや中国最新事例を体験する視察ツアーを実施するなど、企業向けコンサルティング業務も拡大しております。

## iid 5G Mobility®



2017年9月より11回のセミナーイベントを行い、のべ41名の講師を招きました。当社自動車メディア「レスポンス」のインタビュー特集と連動は31回。情報発信のレベルも上げてまいりました。今後はMaaSに注目して2018年8月より月刊でMaaSイベントを開催いたします。

# MaaS

サービス	
自動車メーカー	
Tier1	
AI	
プロセッサー	
センサー	

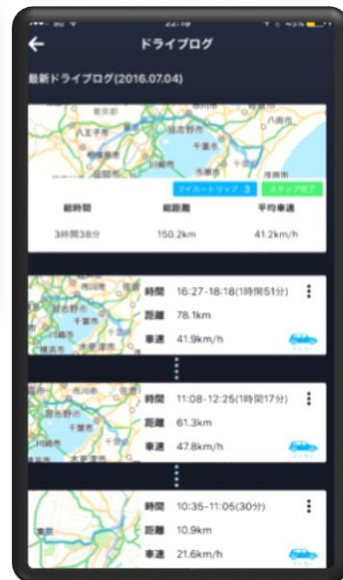
MaaSの世界経済規模は2020年の時点で1010億ドル（11兆円）、2030年には8000億ドル（88兆円）に成長し、2050年には7兆ドル（770兆円）になると予測されています。iid 5G Mobilityでは、新しいモビリティ・スマートサービス（MaaS）を発掘・支援、更に資本業務提携などを実施することで、新たな事業機会を捉え、非連続的な成長を目指していきます。



今後もモビリティビジネスのスマートサービス化の分野で協業先および支援企業を広げてゆく予定です。イードのMaaSへの取り組みにご期待下さい。

## rei frontier

位置情報ログのビッグデータ解析に強みを持つレイ・フロンティア株式会社と、自動車など乗り物の移動ログ解析に特化した位置情報ソリューション「モビリティフロンティア」を共同開発いたしました。第一弾としてイードのクルマネージャー「e燃費」内で「ドライブログ」の提供を開始。リース車両の管理アプリにも活用されています。



## NYLE

デジタルマーケティングのコンサルティングで著名なナイル株式会社はオンラインで申し込める個人向けカーリースのサービス「カルモ」を開始しました。イードでは主にマーケティング分野で運営支援し、新しいスタイルのカーライフ普及のためのユーザー理解促進に共同で取り組んでいます。

